

# 寺井中だより

email:terai-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp

学校 HP でも普段の様子をお伝えしています。ご覧ください。

令和5年5月2日(火) NO.2

発行者 寺井中学校校長 佃 洋子

校訓：和して学ばん

汗して生きん

創造の力みがかん

## □ 5月 心のテーマ「思いやり」

寺井中学校では、月ごとに大切にしたい心の持ち方を「心のテーマ」と名付け、生徒と共有し、様々な取組と関連付けて深めようとしています。5月の心のテーマは「思いやり」です。新しい環境になじみ始めた5月。一人一人が周囲の人を大切に、自分のいる集団を、安心して過ごせる居心地の良い場所にしてほしいと願っています。

行為の意味

宮澤章二

あなたの「へこころ」はどんな形ですか  
とひとに聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも「へこころ」は見えない  
けれどほんとうに見えないのであろうか  
確かに「へこころ」はだれにも見えない  
けれど「へこころづかい」は見えるのだ  
それは人に対する積極的な行為だから  
同じように胸の中の「思い」は見えない  
けれど「思いやり」はだれにでも見える  
それも人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心があたたかい行為になり  
やさしい思いがやさしい行為となるとき  
「へこころ」も「思い」も初めて美しく生きる  
それは人が人として生きることだ

これは、詩人 宮澤章二さんの作品です。小学校の道徳の教科書にも載っています。心の中の「やさしい思い」や「あたたかい心」を、言葉や行動といった目に見える形に表して、人に伝え、「思いやり」の輪を広げてほしいと思います。

## □ 「思い」が行動に表れている「あいさつ運動」

朝、前庭では、はつらつとした朝のあいさつの声が響きわたっています。生徒会役員や、2、3年生有志によるあいさつ運動です。

ある男子生徒が「あいさつができるってかっこいい。」と始め、その姿に賛同した生徒が、一人増え、二人増え……。現在、毎朝10人以上が前庭に立っています。



学校をよくしたいという思い。自分がいいと思うことを実行する力。それを継続させる粘り強さ。真摯な姿に、毎朝、励まされています。

## ◆【お願い】「コドモン」の活用について

能美市全体で保護者双方向連絡システム「コドモン」を活用しています。学校からは、各種連絡、お便りの配付等を中心に活用しています。保護者の皆様からは、生徒の出席に関わる「欠席・遅刻・早退の連絡」のみの活用でお願いします。

生活面や学習面のご相談については、これまで通り電話連絡や懇談による方法をとらせていただきます。

主に、朝の登校時間帯に合わせてコドモンをチェックするため、日中は学校側が受信に気づかず、対応が遅れてしまうことがあります。

このような時代だからこそ、対話によるコミュニケーションも大切にしていきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## □ 春季大会で力を発揮する寺井中！

各会場で熱戦が繰り広げられました。勝利し、感激に浸ることができた選手。敗戦し、くやしい思いをした選手。結果は様々ですが、今回の経験を次に活かし、さらなる飛躍を期待したいと思います。

試合中にミスがでてでも責めずに、あたたかい言葉をかけ、励ましあっている姿が印象的でした。



### 《4月までの主な結果》

※まだ試合が終わっていないチームもあります。

- ・サッカー 優勝
- ・野球 優勝
- ・男子バレーボール 優勝
- ・女子バレーボール 2位

